

# スパルタ練習

当時は女子校だった今治明徳高のソフトボール部の練習の厳しさは半端じゃなかった。午後2時前後から夕方までびっしり。授業が終わると

## 私の履歴書

岡本綾子  
おかもとあやこ

⑤

全力疾走で部室へ行き、着替えて用具の準備をするのが新入部員の役目だった。グラウンドを走ってひたすら投げろ。右足には魚の目ができた。練習中に水を飲むのはもちろん許されない。コーチらの目を盗み雑巾水でも飲んでい

4、5人が相部屋のソフト部の寮の下宿と、高校を行ったり来たりの毎日。上級生の後輩への当たりもきつかった。疲労がたまりすぎて夏休みに入る前から急に食欲が落ちた。無理して食べるとすぐにもどし、すっかりやせてしまった。マッサージをしても一向に良くならない。病院へ行ったところ、レントゲン写

## 目盗み雑巾の水飲む

### 監督の活でスランプ脱出

真に影が見え右肋膜炎を患っていることがわかった。診断書を数学の先生の牧野静馬監督に持って行ったら「夏休みは実家で休め」と言われ、しばらく帰省した。40年以上前のことだから体罰もあった。ソフトボールでは投手の力が勝敗を大きく左右するため私は免れていたが、びんたや、おしりをバットでたたき「けつバット」は

珍しくない。「フェンスへ走って行って壁におしぎをしろ」と言われた部員がコンクリートの壁にゴツン、ゴツンと頭をぶつける漫画みたいな光景も。捕手ミットでなぐられた仲間が、だらだら血を流すのを見たときには膝が震えた。高校3年になると、エースの私は主将を命ぜられた。そ



今治明徳高ソフトボール部時代(前列右が筆者)

級生に日記帳を盗み見された。彼女のことは首を絞めてやりたと思うほど憎たらしかった。

で病院へ運ばれ、1週間ほど入院した。私はショックでスランプに陥り、しばらくボールを投げられなかった。宇都宮で開催された高校総体の前合宿では、いくら投げてもワンバウンドしてキャッチャーミットに届かない。多少コントロールに難があっても豪速球が持ち味の私なの信じられないことに下宿でも高校総体ではベスト4に出た。秋の長崎国体では決勝戦で大分東に延長12回で0-1で惜敗したものの準優勝した。ただ、みんなと一緒にトレーニングをするのは嫌いだ。たし、ソフトボールにはうんざりしていた。3年の時には

人のことを嫌いになり、人間関係に悩んだのも高校時代が初めて。ソフトとは離れ大学に進学しようと、クラス担任の先生に「どこか私が行ける大学を探してください」と相談した。ところが、それを聞きつけた監督が「おまえは大学に行かせない。おまえの進路はワシが決める」と一喝された。(プロゴルファー)